

**倉敷美観地区にある「旅館くらしき」を
あなぶき興産グループの「穴吹エンタープライズ㈱」が支援することになりました**

あなぶき興産グループの穴吹エンタープライズ株式会社(本社 高松市福田町、社長 小島英夫 資本金10百万円)は、「ロイヤルパークホテル高松」「ロイヤルパークホテル高松アネックス」「高松国際ホテル」などのホテル等、穴吹興産(株)の所有する施設運営やその関連業務を行っておりますが、このたび倉敷市の美観地区(伝統的建造地区)の中心部にある「旅館くらしき」「珈琲館」を支援することが、昨日(6月29日)正式に決定いたしましたのでお知らせいたします。

「有限会社旅館くらしき」(本社 倉敷市本町 社長 畠山理穂 資本金 338百万円)
「有限会社珈琲館」(本社 倉敷市本町 社長 乗金瑞穂 資本金10百万円)

「旅館くらしき」は古くから著名人が宿泊し、また、最近ではテレビ・雑誌などの取材によって日本の名旅館として全国に紹介され、多くのファンが訪れています。穴吹エンタープライズも高松市、岡山市でホテル経営を行っており、また最近では、高松の老舗のシティホテル「高松国際ホテル」を再生し元の賑わいを取り戻させるなど施設運営の実績は高く評価されております。

このたびの支援の経緯は「旅館くらしき」「珈琲館」は後継者難という問題を抱えており、仲介者を通じて穴吹エンタープライズに支援の打診があったものです。穴吹エンタープライズは「旅館くらしき」の伝統的な旅館の「おもてなし」など名門のもつホスピタリティなど運営のノウハウを修得できる、また、年間600万人の観光客が訪れる美観地区の中心にあるという希少性とそのブランド力に注目し、今回の支援決定となったものです。

穴吹エンタープライズが出資持分の全額譲渡を受け、土地・建物・営業権などが穴吹エンタープライズに移ることになりますが、「旅館くらしき」の宿泊客にそのおもてなしの接客態度が高く評価されている畠山繁子氏、社長の畠山理穂氏、また焙煎の技術力によって店を訪れる常連客や全国から珈琲豆の注文のある「珈琲館」の乗金瑞穂社長の3名は顧問として、そして両社で働く従業員も現状のまま継続して従事していただくことになっており、当分の間は今までとまったく変わらず営業を行うこととなります。

この「旅館くらしき」を穴吹エンタープライズが支援することにより、今後、これまでのイメージを保ちながら変化の時代にどのような形で運営するのか、これから本格的に検討をしていくこととなりますが、美観地区にある建物の外観は当然のごとく現状を維持し、宿泊人数を抑えた「高級旅館」というコンセプトで、内部の改装や運営等の検討作業に近々入る予定です。当然のことながら美観地区内の建物ということもあり、行政の指導等を受けながらの作業を行います。

また「珈琲館」については従来どおりの運営を維持するだけでなく、さらに発展させていければと思っております。

それらの詳細が固まりました際には皆さま方にご報告をさせていただきます。

私ども あなぶき興産グループの本社は香川県高松市に所在いたしておりますが、倉敷市や岡山市内では数多くのマンション分譲の実績・歴史があり、また、岡山市内で「岡山パークホテル」の経営も行ってきております。

このように岡山はすでに私どもグループの地元という思いで日頃営業活動を行っておりますが、特に地元の皆さまから愛されている「旅館くらしき」「珈琲館」の今まで培ってこられたブランドを大切にしながら、さらなる発展を目標といたしたいと思っております。

今後ともよろしくお願いたします。

旅館くらしき ホームページ URL : www.ryokan-kurashiki.jp

本件についてのお問合せは 穴吹興産 総務部（広報担当） まで